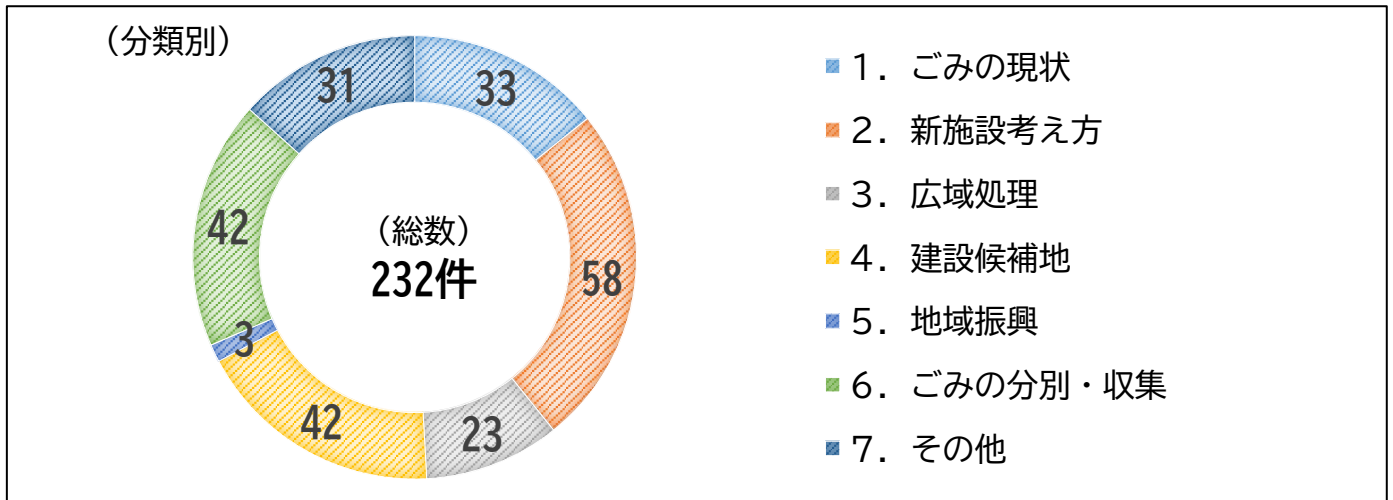


## 新ごみ処理施設整備市民説明会開催報告

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 日 程    | 令和7年5月22日（木）～ 6月22日（日） |
| 回 数    | 16会場 32回               |
| 参加人数   | 359 人                  |
| 意見・質問数 | 232 件                  |

### ◆意見・質問の概要



### ◆意見・質問の内容とそれに対する回答

| NO | 分類    | 意見・質問                                                 | 回答                                                                                                                            |
|----|-------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | ごみの現状 | ごみ処理にどのくらいの費用がかかっていますか。                               | 中津市のごみ処理に、令和5年度の実績で年間約11億円の費用がかかっています。市民一人当たりで計算すると、年間約13,000円です。                                                             |
| 2  | ごみの現状 | クリーンプラザの総事業費はいくらですか。                                  | 平成11年3月に竣工した現施設の総事業費は約33億円です。                                                                                                 |
| 3  | ごみの現状 | 新しいごみ処理施設が稼働するまでクリーンプラザは稼働できますか。                      | 現施設は稼働開始から26年が経過していますが、令和2～4年度にかけて延命化工事を実施しており、令和15年度まで稼働できる計画となっています。                                                        |
| 4  | ごみの現状 | 手選別での分別作業が大変そうなので、ごみの分別区分を増やして収集すると費用面も含めて良いのではないですか。 | ごみの分別区分を増やすと収集回数が増え、費用が増加します。分別の負担や費用対効果を考慮しながら検討します。                                                                         |
| 5  | ごみの現状 | ごみを焼却する時に発生する煙にダイオキシン等の有害物質は含まれていますか。                 | 有害物質の発生をできる限り抑えるため800℃から900℃の高温でごみを焼却し、さらにフィルター処理等の対策を実施しており、国の基準値を大幅に下回る値で安全に管理しています。                                        |
| 6  | ごみの現状 | 焼却施設からの排水は周辺に影響がありますか。                                | 燃やすごみの中に含まれる水は、ごみピット内で集めた後に焼却炉の温度調整で使用しています。また、施設内で使用した水は、終末処理場で処理していますので、周辺に影響はありません。施設周辺の環境調査においても国の基準値を大幅に下回る値で安全に管理しています。 |

| NO | 分類    | 意見・質問                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 回答                                                                                                                                                       |
|----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | ごみの現状 | 環境面での安全性は大丈夫ですか。近隣への影響はないですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 周辺環境に与える影響を毎年調査しており、現施設は国の基準値を大幅に下回る値で安全に管理しています。                                                                                                        |
| 8  | ごみの現状 | 地震による災害面の安全性は問題ないですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 現施設の場所は、南海トラフ地震等により津波が発生した場合の浸水想定が0.5m程度とされています。建物は耐震基準を満たしており、浸水対策として中央監視室を3階に配置しています。                                                                  |
| 9  | ごみの現状 | クリーンプラザの前のごみ処理施設はどこにありましたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 現施設と同じ敷地内に旧工場があります。                                                                                                                                      |
| 10 | ごみの現状 | <p>米山地区に清掃工場が建つ前は、大塚にあるグレース保育園から海側に100m程度進んだ辺りに旧ごみ処理工場がありました。野ざらしになっているごみも見受けられ、良くないイメージがありました。市は次のごみ処理施設の候補地として色々な場所を検討していましたが、受入が難航し、最終的に米山地区に話がありました。</p> <p>米山地区は海岸に面しており、以前は台風が来ると堤防が決壊して田んぼが水浸しになるなど被害を受けていました。その際は、市内の方がボランティアで復旧作業を手伝ってくれていました。その後、昭和30年代前半に国・県の事業で堤防を整備していただいたことで水害はなくなりましたが、米山地区は当時の恩返しをしようということで次のごみ処理施設を受け入れたと記憶しています。</p> | 貴重なお話をありがとうございます。過去の経緯を今後引き継いでいきます。                                                                                                                      |
| 11 | ごみの現状 | 埋立処分場はどの高さまで埋め立てることができますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 埋立処分場の壁の高さまで埋め立てることができます。壁の高さを超えての埋立はできません。                                                                                                              |
| 12 | ごみの現状 | 埋立処分場が満杯になった後の施設管理や埋立物の処理はどうなりますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 埋立が完了した後も埋立処分場を維持管理する必要があり、経費がかかります。新しく埋立処分場を建設する場合は、多額の建設費と運営費がかかりますし、市外の埋立処分場へ搬出し処理する場合も、多額の運搬費と処分費がかかります。現在の埋立処分場をできる限り長く使い続けることができるように引き続き取り組んでいきます。 |
| 13 | ごみの現状 | 埋立処分場の第一処分場は、かさ上げ工事をしている分、第二処分場より高さが高いですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 第二処分場より第一処分場の方が、嵩上げ工事を実施した分の2m高いです。                                                                                                                      |

| N0 | 分類     | 意見・質問                                                      | 回答                                                                                                    |
|----|--------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14 | ごみの現状  | 埋立処分場は津波等による浸水が想定されていますか。                                  | 埋立処分場の場所は海拔約6mであり、津波等による浸水は想定されていません。                                                                 |
| 15 | ごみの現状  | 埋立処分場は川や海が近いが、排水は安全ですか。                                    | 埋立処分場の排水は、施設内で浄化処理を行った後、終末処理場で処理しているため安全です。                                                           |
| 16 | 新施設考え方 | 新施設はどのような施設になりますか。                                         | 具体的な施設整備の内容は、建設用地が決定した後に中津市一般廃棄物処理施設整備検討委員会で検討していきます。                                                 |
| 17 | 新施設考え方 | 新施設はどのくらいの期間使うことができますか。                                    | 一般的に焼却施設の耐用年数が20～25年と言われています。新施設の耐用年数についても20～25年と考えています。                                              |
| 18 | 新施設考え方 | 新施設の整備スケジュールを教えてください。                                      | 新施設の令和16年度稼働開始に向け、令和7年度に建設候補地を選定、令和7年度から11年度にかけて基本計画の策定や各種調査、造成工事等を実施、令和11年度から15年度にかけて建設工事等を実施する計画です。 |
| 19 | 新施設考え方 | 新施設の建設費用はどれくらいを見込んでいますか。                                   | 新施設整備に要する費用については、建設用地や処理方式などが決まっていないことから、現時点では算出が困難です。国の補助金等を最大限活用し、経済性や効率性を確保した施設整備を行いたいと考えています。     |
| 20 | 新施設考え方 | 物価が高騰していますが、予算の関係で必要な設備を省くようなことはしないでしょう。                   | ごみ処理施設は市民生活上欠かすことのできない施設であるため、適正にごみ処理ができる設備を整備します。                                                    |
| 21 | 新施設考え方 | 新施設の地震対策はどのように考えていますか。                                     | 想定される災害への対策は適切に実施します。                                                                                 |
| 22 | 新施設考え方 | 災害でごみ処理施設が被災した場合を想定すると、ごみ処理施設は2か所に分けて整備した方が良いのではないですか。     | 近隣自治体と災害時におけるごみ処理の協力協定を締結しているため、ごみ処理ができなくなることはありません。施設を2か所整備するためには多額の費用が必要となるため、現時点では考えていません。         |
| 23 | 新施設考え方 | 新施設の整備後は分別方法が現在と変わりますか。                                    | 新たなリサイクル設備の導入などにより新しい分別区分ができたり、分別方法が変更になることも考えられますが、具体的な内容は、今後中津市一般廃棄物処理施設整備検討委員会などで検討していきます。         |
| 24 | 新施設考え方 | ごみを燃やさないごみ処理施設があることをテレビで見ましたが、中津市でもそのような施設を整備することを考えていますか。 | 具体的な施設整備の内容は、中津市一般廃棄物処理施設整備検討委員会で検討していきます。ごみ処理の方法について、様々な手法を検討します。                                    |

| N0 | 分類     | 意見・質問                                                            | 回答                                                                                                                               |
|----|--------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 25 | 新施設考え方 | 生ごみをたい肥化する施設にしてほしいです。                                            | 具体的な施設整備の内容は、中津市一般廃棄物処理施設整備検討委員会で検討していきます。たい肥化については、処理後の引受先を考慮しながら検討する必要があります。                                                   |
| 26 | 新施設考え方 | 生ごみの処理について、燃料化して民間企業に使ってもらえるように話ができないですか。                        | 具体的な施設整備の内容は、中津市一般廃棄物処理施設整備検討委員会で検討していきます。ごみ処理の方法について、様々な手法を検討します。                                                               |
| 27 | 新施設考え方 | プラスチックのリサイクルは、燃料へのリサイクルから製品へのリサイクルに変わりますか。                       | 具体的な施設整備の内容を検討する中で、プラスチックの製品リサイクルも含め検討します。施設整備とあわせた更なるごみの減量化・資源化を図ります。                                                           |
| 28 | 新施設考え方 | 新たな方式のリサイクル設備を導入する予定はありますか。                                      | 施設規模が決定した後に、最適なりサイクル設備の選定を検討します。施設整備とあわせた更なるごみの減量化・資源化を図ります。                                                                     |
| 29 | 新施設考え方 | 熱回収など、エネルギーの有効活用方法で決まっていることはありますか。                               | ごみを焼却する時に発生するエネルギーを活用して発電を行い、施設内や他の施設で活用する方法などがあります。他自治体の事例を見ると、温泉施設を併設している施設などもあります。施設規模が決定した後に、エネルギーの有効活用方法を検討します。             |
| 30 | 新施設考え方 | 脱炭素化に向けた計画はありますか。                                                | 施設規模が決定した後に、具体的な整備内容等を検討していきます。                                                                                                  |
| 31 | 新施設考え方 | ごみ処理施設で火災が発生したニュースを見ることがあるが、建設してすぐに火災が発生するようなことにならないようにお願いしたいです。 | ごみにリチウムイオン電池やバッテリーが混入すると、破砕機で処理する際に火花が出るので火災に繋がります。火災発生時の消火装置に加え、火災を予防する仕組みを検討します。また、リチウムイオン電池などは「危険有害ごみ」として分別する必要があることを周知徹底します。 |
| 32 | 新施設考え方 | ごみを焼却した時の排煙について、最新の知見が知りたいです。                                    | 近年では、焼却によって発生する二酸化炭素を有効活用する実証実験も進められているようです。新施設については、これから具体的な施設整備の内容を検討しますが、現施設においても国の基準値を大幅に下回る数値で安全に管理しています。                   |
| 33 | 新施設考え方 | 新施設は環境面での安全性に問題はないと思うが、近隣住民から反対の声があがるのではないですか。                   | ごみ処理施設は、生活するうえで欠かすことのできない施設です。環境面においても安全性は確保されているということをご理解いただけるように努めていきます。なお、最新技術の導入により住宅近接地に建設している事例もあります。                      |
| 34 | 新施設考え方 | ストックヤードの場所も移動しますか。                                               | 新施設には焼却施設とリサイクル施設、ストックヤードなどを整備します。ストックヤードも新たな建設用地に移動します。                                                                         |
| 35 | 新施設考え方 | クリーンプラザの跡地はどうなりますか。                                              | 現施設に隣接する埋立処分場は新施設の稼働後も使い続ける予定ですので、その管理のために使用する予定です。                                                                              |

| NO | 分類     | 意見・質問                                                    | 回答                                                                                                    |
|----|--------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 36 | 新施設考え方 | 20,000㎡とは埋立処分場を含めた面積ですか。                                 | 20,000㎡は焼却施設とリサイクル施設、ストックヤードを想定した面積であり、埋立処分場は含めていません。参考ですが、現施設の面積も約20,000㎡です。                         |
| 37 | 新施設考え方 | 埋立処分場は現在の施設を使い続けますか。                                     | 現在の埋立処分場は令和39年度まで使用できる計画となっています。新施設稼働後も、現在の埋立処分場を使います。                                                |
| 38 | 新施設考え方 | ごみの分別区分を増やすことにより、ごみの減量が進むように取り組めばよいのではないですか。             | 新たな資源ごみのリサイクル方法を検討するなどして、施設整備とあわせた更なるごみの減量化・資源化を図ります。分別区分や収集頻度についても、分別の負担や費用対効果を考慮しながら検討します。          |
| 39 | 新施設考え方 | 新施設の整備について、今後も説明会がありますか。検討段階で意見を聞くようにお願いしたいです。           | 今後具体的な施設整備の内容を検討するにあたり、必要の都度市民のみなさんへも市報やホームページ等を活用し、経過等をお知らせしていきます。また、説明会を開催する必要がある場合は、その都度説明会を開催します。 |
| 40 | 広域処理   | 豊前市、吉富町、上毛町と話をしていたことを新聞で見たが、今は上毛町のみと話をしているということですか。      | 令和5年度から福岡県豊前市、上毛町、吉富町及び築上町と協議を進めてきました。令和6年10月に上毛町から中津市との広域化について前向きに協議していきたい旨の意向が示され、現在協議を進めています。      |
| 41 | 広域処理   | 豊前市や吉富町に再度声掛けをする考えはありますか。                                | 各自治体の判断を一度いただいています。豊前市や吉富町から協議を行いたい旨の連絡があった場合は、協議を行いたいと考えています。                                        |
| 42 | 広域処理   | 上毛町と広域処理をすることは決まっていますか。                                  | 現在は上毛町と広域処理に向けて協議を進めている段階であり、決定はしていません。                                                               |
| 43 | 広域処理   | 上毛町と広域処理をするようになった場合は、上毛町のごみも中津市で処理することになるのですか。           | 上毛町と広域処理を行うことが決定し、中津市に新施設を建設することになった場合は、中津市と上毛町のごみを中津市の新施設で処理することになります。今後建設候補地を選定していきます。              |
| 44 | 広域処理   | 上毛町のごみも中津市で処理することになると、ごみ収集車の交通量が増えることになりましたが、対策は考えていますか。 | 今後の建設候補地選定において、道路などの周辺状況も含めて、最も望ましい建設候補地の選定を進めます。また、建設用地が決定した後も必要な対策を検討します。                           |
| 45 | 広域処理   | 建設費用は上毛町も負担しますか。                                         | 中津市と上毛町で建設費用を分担しますが、その負担割合については今後協議を進めていきます。                                                          |
| 46 | 広域処理   | 上毛町の現在のごみ処理状況を教えてください。                                   | 上毛町は現在豊前市、吉富町と一緒にごみ処理を行っています。                                                                         |
| 47 | 広域処理   | 新施設の建設にあたっては、広域化が多くなっていますか。                              | 新施設の建設では、広域でごみ処理施設を整備することが多くなっています。近隣では、宇佐市・豊後高田市・国東市と一緒に新施設の整備を行っています。                               |

| N0 | 分類    | 意見・質問                                             | 回答                                                                                                                                                      |
|----|-------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 48 | 広域処理  | 国の方針に集約化とあるようだが、中津市は国の方針に従わずに単独で整備してもよいのではないですか。  | 新施設の整備を検討するにあたり、単独または広域処理のどちらが良いかを比較した結果、広域処理の検討を進めることになりました。広域処理については、費用面でのメリットの他に、施設から排出される二酸化炭素の排出量削減等の環境面でのメリットもあります。                               |
| 49 | 建設候補地 | 新しいごみ処理施設をどこに建設するのか、すでに考えがありますか。                  | 現在は新ごみ処理施設候補地選定基準を策定した段階であり、建設候補地の場所については白紙の状態です。なお、新ごみ処理施設候補地選定基準による建設候補地の主な条件は、敷地面積が20,000㎡以上、人口重心地から10km以内の2つです。また、法的規制や災害の発生リスクなどにより制限を受ける区域は除外します。 |
| 50 | 建設候補地 | 建設候補地は上毛町も含めて選びますか。                               | 建設候補地は中津市と上毛町の中から、新ごみ処理施設候補地選定基準に基づき選定していきます。                                                                                                           |
| 51 | 建設候補地 | 建設候補地の抽出基準で浸水想定が5m以上の区域を除外とあるが、現施設の場所は除外区域となりますか。 | 現施設の周辺は南海トラフ地震等により津波が発生した場合の浸水想定が1.0m未満、台風等により想定最大規模の高潮が発生した場合の浸水想定が3.0m以上5.0m未満とされていますので、除外区域ではありません。なお、浸水対策工事の実現性を考慮して5mを基準にしています。                    |
| 52 | 建設候補地 | 除外区域以外でも浸水が想定される場所があると思うが、どのような評価になりますか。          | 新ごみ処理施設候補地選定基準に基づき評価する際に、浸水想定区域外の土地より点数が低くなります。                                                                                                         |
| 53 | 建設候補地 | 新施設を建設する場所については、環境面などで近隣施設へ与える影響にも配慮してほしいです。      | 建設候補地の選定については、新ごみ処理施設候補地選定基準に基づいて様々な項目で評価します。環境面や近隣施設へ与える影響も評価項目に含んでいます。                                                                                |
| 54 | 建設候補地 | 新施設の建設にあたり、埋立処分場の跡地を利用できるのではないですか。                | 埋立処分場は令和16年度以降も使い続ける予定です。埋立処分場の跡地利用は埋め立てが完了した後となります。                                                                                                    |
| 55 | 建設候補地 | 20,000㎡はどのくらいの広さですか。                              | 20,000㎡は、田んぼ20反（2町）、サッカーコート約3面分、約6,000坪です。                                                                                                              |
| 56 | 建設候補地 | 仮に豊前市と吉富町も一緒に新施設を建設することになった場合は、20,000㎡で問題ないですか。   | 今後検討を進めていきますが、仮に豊前市と吉富町が加わった場合でも、敷地面積については20,000㎡以上あれば問題ないと考えています。                                                                                      |
| 57 | 建設候補地 | 豊前市や吉富町も一緒に広域化することとなった場合、人口重心地はどうなりますか。           | 豊前市と吉富町が加わった場合、人口重心地は北西に動きます。中津市の万田交差点付近が人口重心地になります。                                                                                                    |
| 58 | 建設候補地 | 施設の建設用地が二転三転している事例もあるようなので、そうならないようにしてほしいです。      | 今後候補地を選定するにあたり、新ごみ処理施設候補地選定基準に基づき、丁寧に検討を進めていきます。                                                                                                        |
| 59 | 建設候補地 | 建設用地は自治会から公募している事例が多いですか。                         | 他自治体では、自治会からの公募のみにより建設用地を選定している事例もあります。                                                                                                                 |

| N0 | 分類   | 意見・質問                                             | 回答                                                                                                                  |
|----|------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 60 | 地域振興 | 建設用地周辺の地域振興策はどのように決まりますか。                         | 建設候補地の選定については、地権者や周辺住民の皆さまのご理解とご協力を得られることが非常に重要であると考えています。候補地となった地域の自治会に丁寧に説明を行い、地域振興策については自治会との協議により決定することを考えています。 |
| 61 | 地域振興 | 建設用地周辺の地域振興策については、検討しているものがありますか。                 | 地域振興策については、地元自治会の要望を受けて協議し内容を決定することを考えています。                                                                         |
| 62 | 地域振興 | 建設用地の周辺地域は地域振興策が実施できるというメリットがあるが、デメリットは何が考えられますか。 | 現施設においても毎年環境面についての調査を実施しており、安全性を確保できています。年末年始は特にごみの持ち込みが多く、搬入車両の通行が増えますが、その他特にデメリットはないと考えています。                      |

※新ごみ処理施設整備に関する意見・質問のみを掲載しており、同主旨のものはまとめた形としています。